

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集 営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務 販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
http://www.n-mokuzai.com/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2017
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。
木が拓く
新たな未来
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports

2年ぶり高値水準に

前月比10ドル高、合板向けも続伸

製材向け米松丸太

大手製材工場向け米国産米松丸太の2月積み輸出価格は、尺下、尺上とも前月比10ドル高となった。産地は年末からの寒波で1月にかけて降雪が続き、丸太の搬出は停滞気味。米国内需要もおお盛で、需給が引き締まったことが背景にある。合板向けカナダ産米松丸太も続伸した。足元の円高で輸入コストは若干下がるが、需要は依然活発で、産地価格はなお先高観がある。

価格はSS級8800から11700に、FAS、10000に、BM、スクリプナースケール、皮付き、IS級8600(同)、S L C 8600(同)で、2015年2月以来、2年ぶりの高値水準。昨年末の急速な円安を受けて、10ドル高、尺下は20ドル高に変わりはしない。産地は米国北西部からカナダ西部沿岸にかけて寒波に見舞われ、1月中旬まで続いた降雪で丸太の搬出が停滞した。その後の降雪、雪解けにより現場作業は再開したが、総じて供給は細まっている。

日本乾式遮音二重床工業会(東京都、堀内一治会長)が発表した2016年(1~12月)の乾式遮音二重床の出荷量は1195万6677平方尺(前年比0.08%減)とわずかながら前年水準から減少し、2年連続の前年割れとなった。

16年出荷はわずかながら減少

1~3月の低水準響く

乾式遮音二重床

16年の新設住宅着工戸数は96万7237戸(同6.4%増)だが、乾式遮音二重床が使用されるマンションの着工は微減推移。さらに販売戸数は長期長期化など、期化など、大幅に減少しており、その事情を斟酌すると、乾式遮音二重床の出荷量は、4月以降は月を追って回復している。16年のマンシオン着工戸数は11万4570戸(同0.9%減)と大幅減となった。低かったのが響いた。16年のマンシオン着工戸数は11万4570戸(同0.9%減)と大幅減となった。低かったのが響いた。16年のマンシオン着工戸数は11万4570戸(同0.9%減)と大幅減となった。低かったのが響いた。

価格が高止まりしており、販売は苦戦が続いている。だが、乾式遮音二重床が微減推移となった。

集成材
FSC SGECC
株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

米国の最大手シッパは「伐採への影響は大きくない」と語るが、オープンマーケットの需給が引き締まり、相場が上昇している。特にカナダ西部沿岸は昨年末にかけて伐採を減らした経緯があり、足元の不足感が強い。先行き寒波の再来も考えられ、丸太供給は予断を許さない状況が続く。

3階建てCLTを選定
福島復興公営住宅
福島復興公営住宅の復興公営住宅の整備事業を行っている福島県土木部建築住宅課は1月31日、公募していた買取型復興公営住宅について、興公営住宅に決定した。

福島復興公営住宅
福島復興公営住宅の復興公営住宅の整備事業を行っている福島県土木部建築住宅課は1月31日、公募していた買取型復興公営住宅について、興公営住宅に決定した。

後藤木材 匠密木材(つよぎ) 評価高まる
九州商況 消費地向け製品出荷に停滞感
上信越版 ウッドビルリッジ川場 森林エネルギーを都市利用
日本ハウスHD 賃貸併用住宅に参入
日田木材協組 木材の良き引き出す事務所を
名古屋の木材商況 欧州材、合板検査済み

マンシオン販売は今年いっばい回復が難しいとの見通し。直張り工法との競合も厳しいなか、業界挙げての非住宅分野の市場開拓やリフォーム用途の拡大が期待される。

一方、複合フローリングのなかでマンション向けが主体と見られる防音直張り用(L L 40~50)の販売量は692万6800平方尺(同1.3%増、日本複合・防音床材工業会)と微増しており、直張りが健闘したことが分かる。

建設場所はいわき市下湯長谷地区・北工区で57戸分。福島県内にはCLT工場がないことから、県外産のCLTを県内でプレカット加工して建設する計画だ。

一条工務店(東京都、宮地剛社長)のフイリピンにあるグループ工場で1日夕方、大規模な火災が起きた。フイリピン北部カビテ州にある建築資材の製造工場で、従業員ら80~100人以上と、日本人男性2人が負傷したとされる。ただ6日午後の時点で、同社でも確認中とのこと。